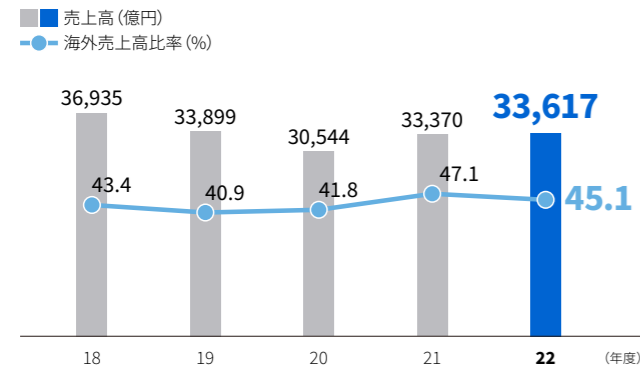


財務ハイライト (連結)

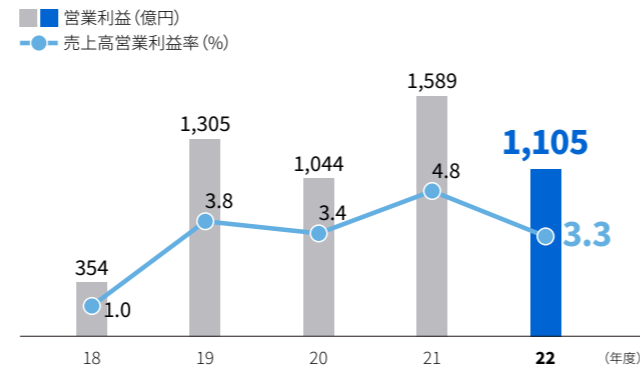
2023年3月期の詳細の財務情報は[第184期有価証券報告書](#)をご覧ください。

売上高／海外売上高比率



ビルSL*での空調事業の連結除外の影響等による減収、デバイス&ストレージSLのHDD他での減収があったものの、その他のセグメントでは対前期増収となり、全体では前期比247億円増加し33,617億円となりました。
*SLはソリューションの略

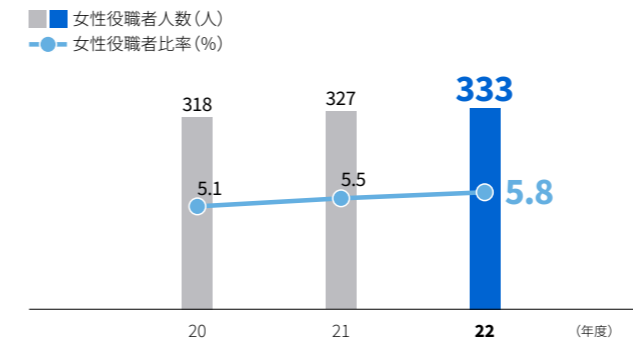
営業利益／売上高営業利益率



HDD、リテール&プリンティング、発電システム等の一時的要因を主因に、前期比484億円減少し、1,105億円となりました。

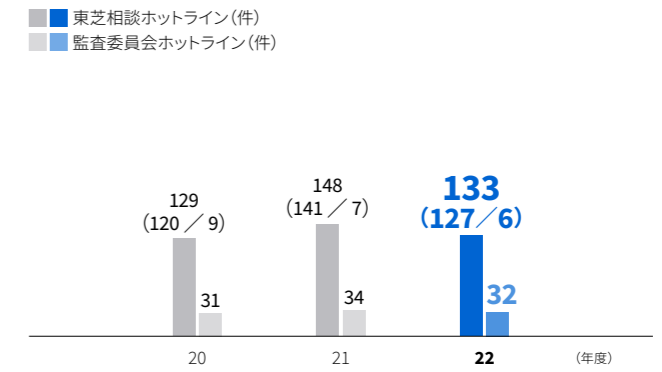
非財務ハイライト (連結)

女性役職者人数／比率推移 (東芝および主要グループ会社*、課長クラス以上)



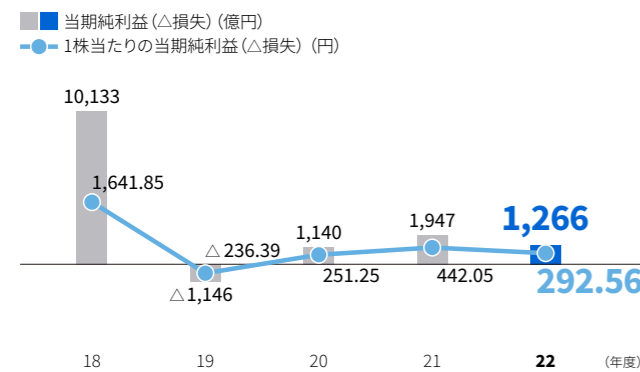
* (株)東芝および東芝エネルギーシステムズ(株)、東芝インフラシステムズ(株)、東芝デバイス&ストレージ(株)、東芝デジタルソリューションズ(株)の数値

内部通報受付件数



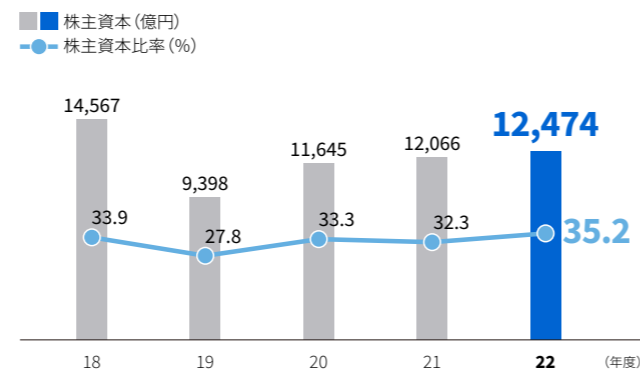
* カッコ内 (社内事務局受付件数/弁護士事務所受付件数)
※ 社内事務局受付の案件と同一通報がなされたもの含む

当期純利益(△損失)／1株当たりの当期純利益(△損失)



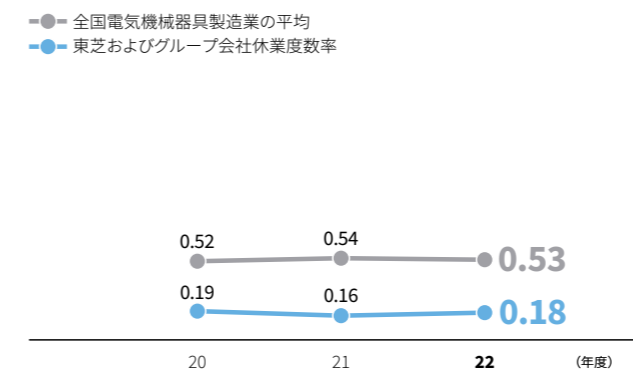
当期純損益は、連結子会社の繰延税金資産の取り崩し影響等で、前年同期比681億円減少し1,266億円となりました。

株主資本／株主資本比率



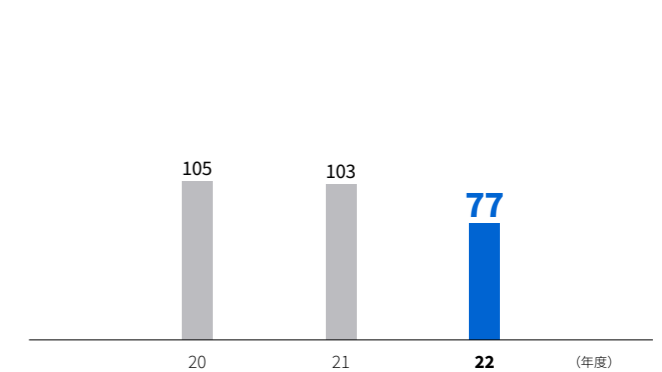
株主資本は、当期純損益および包括損益の増加による影響により、前期末に比べ408億円増加し、1兆2,474億円となりました。

国内東芝グループ会社における休業度数率*



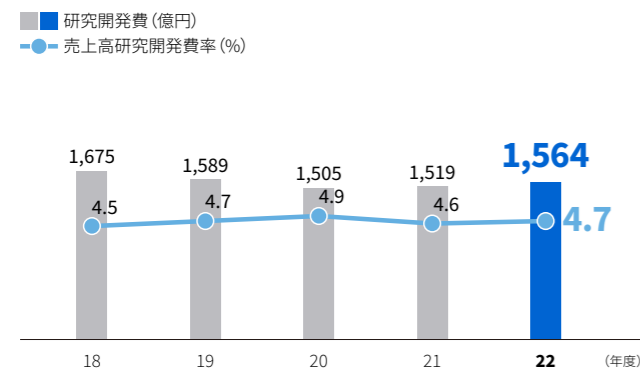
* 休業度数率：100万時間当たりの休業1日以上の業務上災害件数
※ パート、アルバイト、有期、派遣労働者の被災件数も含む

温室効果ガス総排出量* (万t-CO₂)



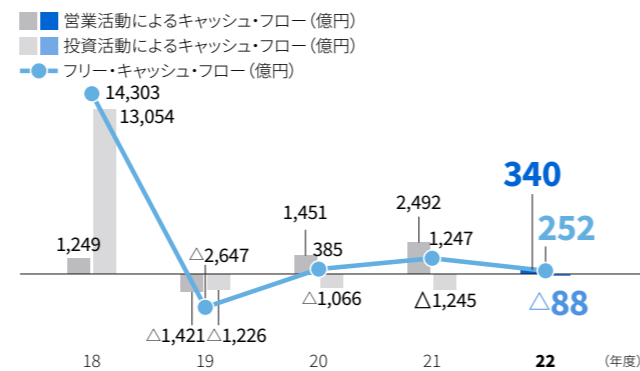
* 電力CO₂排出係数には、各電力会社より提供された排出係数を用いています

研究開発費／売上高研究開発費率



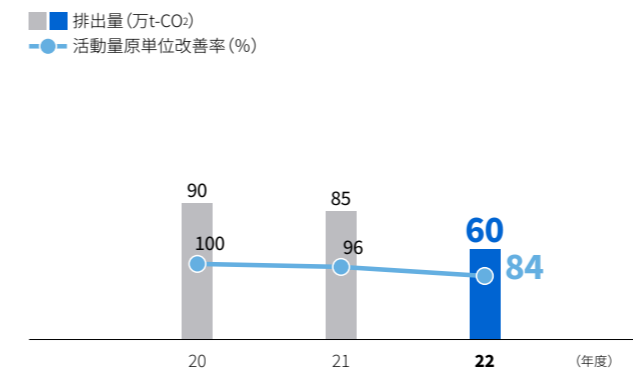
研究開発費は前期比45億円増加となる1,564億円を投入しました。また、売上高研究開発費率は前期比+0.1%の4.7%となりました。

キャッシュ・フロー



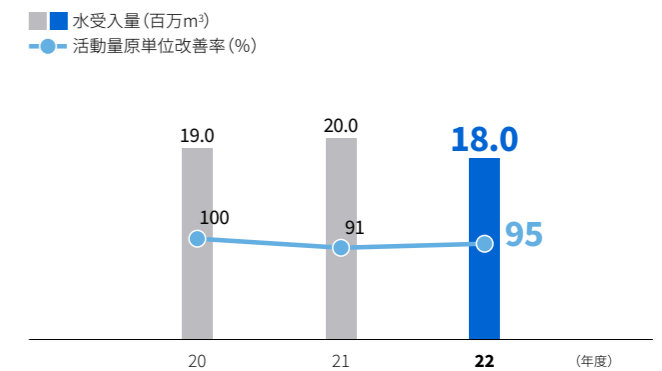
営業キャッシュ・フローは前期から2,152億円減少し、340億円の収入となりました。投資キャッシュ・フローは、前期から1,157億円減少し、88億円の支出となりました。この結果、フリー・キャッシュ・フローは前期比995億円減少し252億円の収入となりました。

エネルギー起源CO₂排出量と活動量原単位改善率



* 電力CO₂排出係数には、各電力会社より提供された排出係数を用いています
※ 活動量原単位には、モノづくりに伴うエネルギー使用量と関係をもつ値(生産高、生産台数、人数、延床面積など)を使用しています
※ 2020年度を100%とした活動量原単位改善率

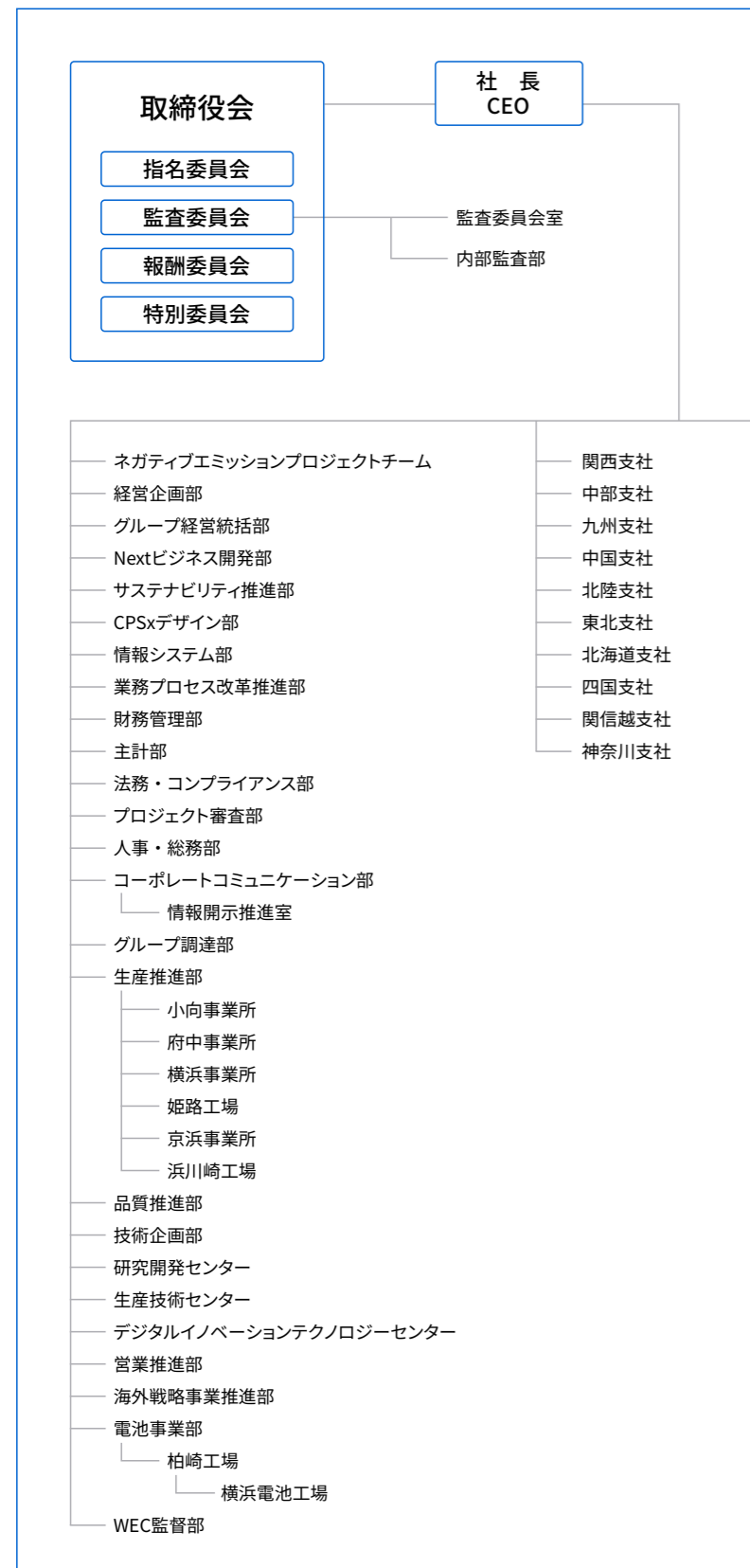
水受入量と活動量原単位改善率



* 2020年度を100%とした活動量原単位改善率

組織体制

株式会社 東芝



エネルギーシステムソリューション

- 東芝エネルギーシステムズ株式会社
- 東芝プラントシステム株式会社

インフラシステムソリューション

- 東芝インフラシステムズ株式会社

ビルソリューション

- 東芝エレベータ株式会社
- 東芝ライテック株式会社

リテール&プリンティングソリューション

- 東芝テック株式会社

デバイス&ストレージソリューション

- 東芝デバイス&ストレージ株式会社

デジタルソリューション

- 東芝デジタルソリューションズ株式会社

東芝アメリカ社

東芝欧州社

東芝アジア・パシフィック社

東芝中国社

2023年10月1日現在

東芝グループの事業活動

エネルギーシステムソリューション ▶ P.37

原子力、火力などの大型発電設備に加え、水力・地熱・太陽光・風力などの再生可能エネルギー発電システムの事業を展開しています。また、つくった電気を家庭や産業向け施設などに届ける送配電システムや、分散型エネルギー資源を有効活用するVPP、再エネ由来の水素エネルギーシステムなど、様々な事業を展開しています。

- エネルギー事業領域**
 - 東芝エネルギーシステムズ株式会社
 - 東芝プラントシステム株式会社

インフラシステムソリューション ▶ P.39

社会の重要なライフラインを支える公共性の高いお客様に対して、長年にわたり製品・システム・サービスを提供してきました。さらにIoTやAIなどを取り入れ、より安心・安全で快適な社会インフラシステムを構築してお客様・社会に貢献してまいります。

- 社会インフラ事業領域**
 - 東芝インフラシステムズ株式会社

ビルソリューション ▶ P.41

人々の快適な暮らしを支える上で不可欠な、ビル・施設向け昇降機・照明事業において、高い省エネ性能で環境面に配慮した製品・サービスや、安全性・快適性を向上させるビルソリューションをグローバルに推進しています。

- ビル事業領域**
 - 東芝エレベータ株式会社
 - 東芝ライテック株式会社

※ 2022年度には東芝キャリア株式会社業績が含まれますが、同社は2022年8月1日付で株式譲渡により連結対象から外れています。

リテール&プリンティングソリューション ● 東芝テック株式会社

デバイス&ストレージソリューション ▶ P.43

今後も安定した市場成長が見込まれる車載・産業用半導体、データセンター向け大容量HDD、半導体製造装置や部品・材料事業に注力して事業拡大を目指します。高付加価値な製品の供給を通じて、カーボンニュートラル、デジタル社会の進展、安心・安全な社会の実現に貢献します。

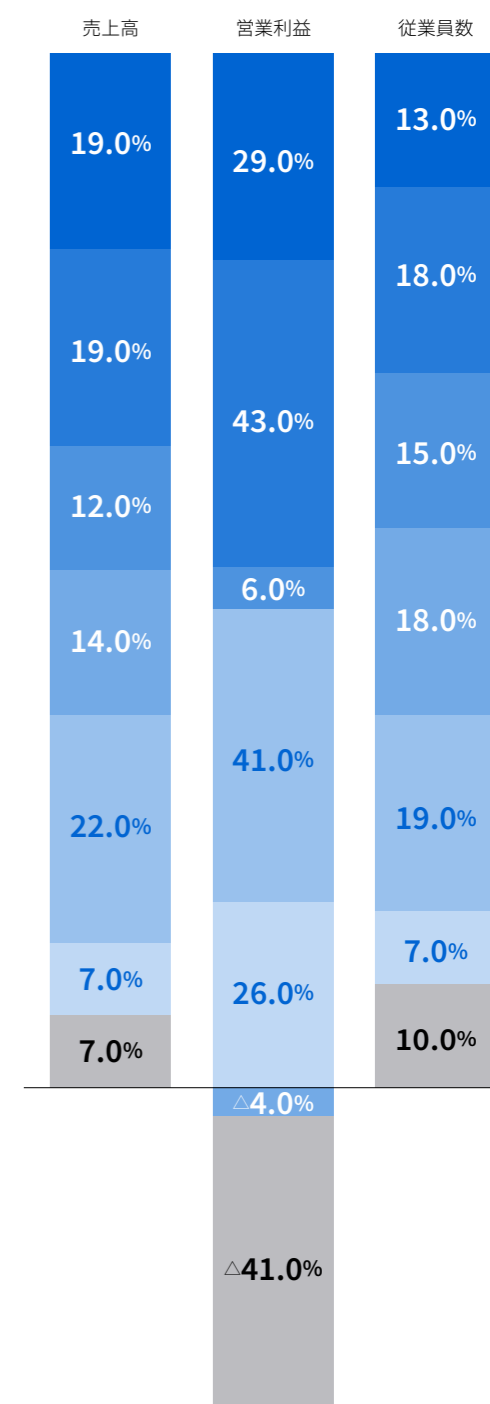
- 電子デバイス事業領域**
 - 東芝デバイス&ストレージ株式会社

デジタルソリューション ▶ P.45

デジタルで豊かな社会を実現することを目指し、東芝の幅広い事業領域の知見とIoTや人工知能(AI)、量子関連技術など先進のデジタル技術を生かし、お客様や社会とともに新しいサービスや価値を創造していきます。

- デジタルソリューション事業領域**
 - 東芝デジタルソリューションズ株式会社

セグメント毎の各指標内訳(2022年度)



- エネルギーシステムソリューション
- インフラシステムソリューション
- ビルソリューション
- リテール&プリンティングソリューション
- デバイス&ストレージソリューション
- デジタルソリューション
- その他

・グラフ内の構成比はセグメント間消去前の合計に対する比率です